

(real) time

&

study tables

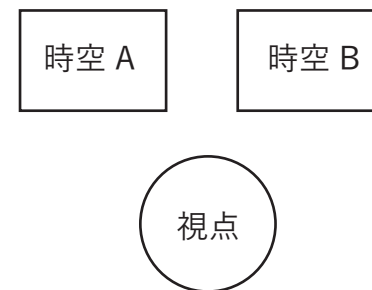
私たち study tables は (real) time という言葉を巡って、
現実と認識の確認作業（検証）を公開します。

2 つ以上の時空が存在し、その時空について思考している視点から見て、
それぞれの時空が同期していると感じられた時リアルタイムは成立する。

という仮説をたてました。

式に示すと、

視点 + 時空 (n+1) = (real) time



視点から見て、それぞれの時空が同期している状態

各レポートでは、この (real) time を巡る検証作業や、
前回の検証から派生した問題について取り上げています。

リアルタイム と (real) time の関係

リアルタイム : 一般的に使用される意味

リアルタイムとは、英語で「即時に」や「同時に」、「実時間」という意味の言葉である。(出典:wikipedia)

例：コンピュータの処理速度(リアルタイム処理)、Twitterのタイムライン、skype(リアルタイム通話)、など

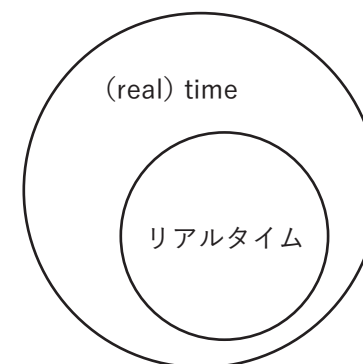
(real) time : 式から求められるリアルタイム

例えば、Twitterのタイムラインは、数分前のつぶやきでも、タイムラインに並んでいるとリアルタイム感がある。

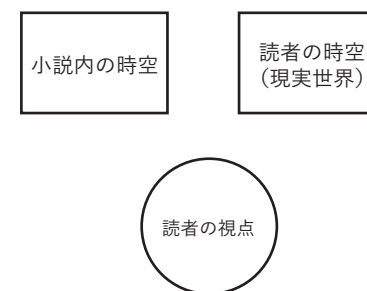
そういった数値的な厳密さ“time”に対して、感覚的なもの“real”があり、“real”な感覚の方を拡張して考えた場合のリアルタイムを (real) time とする。

例：小説を読んでいる時間

小説内の時空と、読者の時空が影響(同期)し合う時、(real) time であると言えるのではないか？(検証「小説を読んで現実との対応関係を考える」)



「リアルタイム」と「(real) time」の関係



小説における (real) time